

気候変動

気候変動問題への取り組み

J-POWERグループは日本および海外での発電事業を中心に事業展開しているため、地球環境問題、特に気候変動問題への対応は当社のマテリアリティとして認識しています。グローバルな経済発展と気候変動問題の両立を目指し、その実現に向けてさまざまな取り組みを進めています。

ガバナンス体制や目標・戦略、具体的な取り組みは各ページをご覧ください。

長期戦略・ロードマップ(J-POWER“BLUE MISSION 2050”)
 中期経営計画の取り組み状況
 気候変動シナリオ分析(TCFD提言に基づく情報開示)

GXリーグへの参画

「GX(グリーントランスフォーメーション)リーグ」は、2050年カーボンニュートラル実現と社会変革を見据えてGXへ挑戦する企業が産・官・学と協働する場です。当社は2022年2月のGXリーグの基本構想公表後からいち早く賛同を表明しており、2023年5月の活動本格化をもって参画企業へ移行しました。今後、自主的な温室効果ガスの排出量削減目標を策定し、その達成に向けた進捗、排出量取引状況等の開示を行っていく予定です。

役員・従業員の知識向上に向けた取り組み

気候変動に関する国際動向や最新情報の知識獲得のために、役員や従業員向けの研修などを実施しています。

取り組み例

新入社員研修や目的別研修
部門長・機関長への講義
社外有識者を招聘した役員向けの講演・ディスカッションなど

トランジションを支える資金調達

グリーンボンドの発行

J-POWERは、2022年度までにグリーンボンドを3回発行し、調達した資金をCO₂フリー電源である陸上風力プロジェクトの開発などに充当してきました。2022年11月に発行した「第3回J-POWERグリーンボンド」(第82回無担保社債)では、調達した資金はすべて国内陸上風力の開発プロジェクトに充当されました。

環境改善効果等については、すべての適格プロジェクトの運転開始後、当社ホームページにて公表します。

J-POWERグリーンボンド
<https://www.jpowers.co.jp/ir/ann73000.html>

第3回J-POWERグリーンボンド調達資金の充当状況

(2022年12月末現在)

項目	金額
調達額(手取金)	169億円
資金充当額	
くずまき第二風力発電所(岩手県)	79億円
上ノ国第二風力発電所(北海道)	60億円
南愛媛第二風力発電所(愛媛県)	20億円
新島牧風力発電所(リプレイス)(北海道)	10億円
未充当残高	0億円



上ノ国第二風力発電所の建設

新たな資金調達の枠組みを策定

トランジションの取り組みをさらに加速するために、2022年11月に従前のフレームワークを再構成した「グリーン/トランジション・ファイナンス・フレームワーク」を策定しました。2023年2月には本枠組みに基づき、「トランジション・リンク・ローン」による資金調達を行いました。達成すべき目標(SPT)であるCO₂排出削減目標の達成状況と借入条件を連動させることで、当社のトランジションに向けた取り組みを促進させる仕組みとなっています。

なお、本フレームワークの策定にあたっては、第三者評価機関であるDNVビジネス・アシュアランス・ジャパン(株)からグリーン・ファイナンス、トランジション・ファイナンスおよびサステナビリティ・リンク・ファイナンスに関する各種基準への適格性についての評価を受けています。

トランジション・リンク・ローン活用例

借入日	2023年2月28日
借入額	300億円
借入期間	5年間
貸付人	国内金融機関(協調融資)

p.32 財務面での取り組み